

0:00

太郎：こんばんは、本日キャリアコンサルティングを担当します、太郎と申します。

藤田：藤田と申しますよろしくお願ひいたします。

太郎：藤田さんですね、今日はお暑い中、お越しいただいてありがとうございます。早速なんですけれども、本日のご相談内容についてお伺いしてよろしいでしょうか。

0:25

藤田：はい。私は大学3年生になるんですけども、ずっと税理士の資格試験ですね、頑張ってみて、専門学校ですね、通いながら勉強したんですけども、結果的にですね、いま1科目しか合格していない状況なんです。

今3年生の1月なので、同級生も就職活動に向けてですね、いろいろ準備を進めている中で、本当に今までこれだけ頑張っても1科目しか合格しなかったんです。本当にこの税理士試験をこれからずっと目指すのか、諦めた方がいいのか、諦めて就職活動ですね、した方がいいのかですね。ちょっとわからなくなってしまいました。

1:30

太郎：わかりました。ありがとうございます。そうしましたら、今お話いただいたことを確認させていただくと、藤田さんは大学3年生で、現在税理士試験勉強をしているけれど、今後就職活動をしようかどうか、そういうことで悩んで、今日はお越しになられたということでよろしいでしょうか。

主訴（来談目的）の確認：要約

2:00

藤田：はい。そうです。

太郎：ありがとうございます。そうしましたら、一緒にね、藤田さんのお悩みについて検討、考えていきたいと思うんですけども、まず、今の大学を志望されたり、税理士をね、志望されたそういうきっかけとか、そういうところから教えていただいてよろしいですか。

2:23

藤田：はい。高校のときにですね、今の学部は経済学部なんですけども、高校時代から理系ではなく、文系だなんていうところで絞り込んで勉強して、今の大学の経済学部に入ったんですけど、もうその経済学を学びたいとか、文系で良いところに行きたいっていうところで勉強して入ったとか、そういう流れもあるんですけども、入った限りはですね、やっぱり何か大学生活の中で、今後のことを考えながらですね、何をしようかと考えたときに、将来独立もできると考えて、資格を持って、独立も考えたときに、会計士と、税理士というのがあって。

資格の内容いろいろ調べたんですけど、やっぱり税理士事務所も多いので、税理士の内容を見て、結構税理士の内容も、面白そうだなということですし、税理士など、決めてですね、専門学校を探して、目指す勉強始めました。そういう流れです。

4:02


太郎：ありがとうございます。そうすると、昨年の、夏に試験があるんですかね、税理士だと。まあ合格するかどうか、やきもきっていうのもあったかと思うんですが、結果が12月に出て1ヶ月というところですかね。

そして、1科目合格はしたけれども、ちょっと立てていたプランと違う。そういったところでね、また具体的にお伺いしていきたいんですが、当初はどういったプランを立てておられたんですか。

4:30

藤田：当初はですね、在学中に取りたいし、税理士試験合格したいなっていう、今から考えたら無謀なんですけど、そういうふうにしてまして、専門学校で並行して科目をですね、並行して勉強して、入ってすぐ、いろいろ悩んだりする時期もあって、だいたい1年生の秋ぐらいからですね、勉強し始めて、2年、3年と2回今受験したんですけど、2年間である程度どれだけ取れるか、幅広く科目を勉強してる感じです。

その中でも、全部取れなくても3科目ぐらいは取れていたら、何とかという気持ちでやってました。

税理士受験で、普通そんな勉強はしないでしょという
驚きから、雑な応答に。反省

5:41

太郎：ということは、1回目は1科目も合格しなかった。

藤田：そうですね。

太郎：ふむ…2回目は何科目受験されたんですか。

藤田：3科目受験しまして。簿記論だけ合格しました。

太郎：二つはダメだったと。その二つは何と何だったんですか。

藤田：財務諸表論と法人税です

その前に、合格への賞賛の方が良いですね。反省🌀

太郎：なるほど。簿記論と財務諸表論はね、税理士試験にしろ、会計士にしろ、非常に役立つと思うんですが、法人税を選ばれたというのは、何か将来を考えてというところですか。

6:39

藤田：いや、法人税か所得税か、どちらが取っかないといけないんです。

太郎：そうなんですな。

藤田：そんなに難しいと思ってなかったっていうのと、会社って法人税じゃないですか。

太郎：うん。

藤田：まず法人税だろっていう感じで、税務の世界っていうのは。対会社とかであれば、法人、まず法人税だっていうふうに思って。

7:13

太郎：なるほど。そして、今回結果が出て、1科目は合格して、あと残り4科目で、夏に試験があつて、だけど、就職活動もある。単位は大丈夫ですか。

藤田：単位は大丈夫ですね。経済学なんて、簿記とかですね、財務諸表の科目もありますし、割と重なってる部分もありますので。

7:49

太郎：すごいですね。単位と学校の勉強と両立しながら。

藤田：もう本当に勉強に大学時代をかけたという感じなので。特に遊んでもいないし、アルバイトとかもほとんどしてないんですね。

主訴の確認（中間まとめ）

8:21

太郎：なるほど…お悩みというのは、**税理士試験を続けるか、就職活動するかっていうところ**なんですか。

仕事（試験）理解不足

藤田：そうなんですよ。このまま今これだけ頑張っても合格しか取れていない現状のなかで、やっぱりいろいろ周りを見ますと、初めはいろいろ無知の中でやってきたんですけど。やっぱり、皆さん人生を賭けてやっているんですし、果たして時間を掛けてあと4科目を働きながらっていうのが、ちょっと無茶だなと思いますし、とはいえ就職せずに勉強し続けて4科目取るかっていうのも、ちょっと現実的ではないなっていうものもありますし、この状態で大学院行かしてくれっていうのも、ちょっと親になんて説明したらいいのか、っていう感じですね。

仕事（試験）理解不足

支援リソースが活用できていない

9:27

太郎：今年は3科目だけを受験したんですね。

藤田：はい。

太郎：こんなに頑張って勉強したっていうことなんですが、何時間ぐらい勉強されたんですか。

藤田：そうですね。もう学校が終わったらすぐ専門学校で、授業受けて自習室に残って、学校がないときは明日から自習室に行って、その繰り返しでした。

9:59

太郎：だいたい、数字で言うとどれぐらいなんですか、1,000時間ぐらい、2,000時間。ざっくりでいいですよ。

抽象→具体化

藤田：1年間ですよ

太郎：うんまあ、1年間勉強されたんでしたら1年間ですし、結果が出てから半年だったら半年で。

10:25

藤田：10時間ぐらいやりました。

太郎：学校行ってるときは、週に何時間ぐらい勉強されたんですか？学校もありますよね。

藤田：そうですね。1日、学校があったとしても、3時ぐらいに終わって、そうですね、やっぱり6時間は最低やってます。

太郎：休みの日は？

藤田：休みの日は10時間やりました。

太郎：ということは、土日で20時間、5×6で30時間。週50時間、月200時間…ふむ。それで3科目。3で割ったら1科目、月60時間ぐらいですか。

11:14

藤田：うん。そうですね。

問題の分割 (Partitioning) : 3科目を1科目に分割し、仕事しながら又は専業でも合格は無理という思い込みを解消 (仕事理解不足の解消)

太郎：ふむ…3で割ったら月60時間。1日2時間そうですねだいたい簿記論、財務諸表、各800時間前後。うん。4科目っていうのは一考合格しないと駄目なんですか。

11:52

藤田：1科目ずつで大丈夫です。

問題の分割 (Partitioning) : 1科目に分割を再度行うことで、仕事しながら又は専業でも合格は無理という思い込みの解消 (仕事理解不足の解消)

太郎：なるほど。3科目をだいたいまんべんなく今回は勉強された感じですか。

藤田：そうですね。それはやっぱり、法人税とかは深くは勉強できなかったという感じです。やっぱりテキスト等にあるところ押さえたぐらいで、全然出来てなかったです。

12:24

暗示 (Suggestion) : 勉強しなかったから落ちたのであって、能力不足で落ちたのではないという暗示

太郎：ということは、法人税はあんまり勉強してなかったと。

藤田：そうですね。やっぱり通った方の話を聞いていると、全然足りなかったっていうのは、やっぱり反省としてあります。

12:45

太郎：なるほど。各科目の勉強時間って、大体どれぐらいしたら合格する感じなんですか。

藤田：どうですかね、1,000時間ぐらい。

太郎：そうですね。だいたい税理士5,000時間ぐらいって言いますもんね

藤田：うん。

暗示 (Suggestion) : 勉強しなかったから落ちたのであって、能力不足で落ちたのではないという暗示の繰り返し。

13:23

太郎：今1科目受かってるから、残り4,000時間、法人税はあんまり力をいれなかったということは、簿記論と財務諸表論は勉強されて、どれぐらい足りなかったんですか、財務諸表論は。

藤田：財務諸表はそうですね、理解はできてたかなと思うんですけど、ちょっと本当にそれで足りなかったんですけど。

太郎：来年は財務諸表だけに絞ったらいけそうなんですか。

14:11

問題の分割 (Partitioning)

藤田：財務諸表論だけに絞ったら大丈夫です。

前向きな変容

太郎：そしたらそれで2科目。ということは残り3科目ですね。

藤田：はい。

残り3科目というゴールが見えれば
受験に傾く可能性が高いと判断、受験の意志確認へ。

太郎：税理士になりたい。今思いますか？

前進 (Progression)

藤田：そうですね、やっぱりこれだけの時間をかけてきたって思いもありますんで。大学時代遊ばずに、それに賭けてきたので、やりたいですね

14:38

クライアントの前向きな変容発生

変容を受けて
→新たな方向付け (Reorientation)

太郎：やりたい。残り3科目やるとしたら何をやります？

藤田：そうですね。一つはやっぱりこれからやっていく上でも、やっぱり難しくても法人税やりたいなって思いますね。あとは今ね、やっぱり消費税ですね。あとはちょっと難しいかもしれないですけども、やっぱり事業承継とかそういったこととかもできるように考えると、相続税ですかね。

15:48

太郎：働かっていうのは、絶対働かないといけない感じなんですか。それとも、学校出てから勉強するにしてもって話ありましたが、例えばフリーターとか、アルバイトしながら働かざるを得ないのかね、あと3年で合格するという約束だったら親御さんの援助が得られる

のかね、はたまたもう財務諸表論受かっていれば、2科目受かっているから会計事務所に就職
って可能性も出てくると思うんですけど。

藤田：はい。

科目合格している以上、
就職はいつでも可能という暗示

16:24

太郎：会計事務所に就職しながら、1科目ずつだったら1,000時間1日2時間ですよ。で攻
めていくのか、今回財務諸表論が結構惜しいところまでいってるんでしたら、あと3科目です
よね。さっき大学院の話もね、ありましたから大学院で2科目としたら、あと1科目。

藤田：はい。

問題の分割 (Partitioning)
→勉強時間の分割&合格方法の分割

16:52

太郎：そのあたり親御さんにご相談っていうのはもう、ちょっとまだ言えてないところ
ですけど、そういうところの整理をした上で、親御さんと話をして、どういうふうに、ちょ
っとまあお金、全くプロパーで勉強するんだったら、生活費の問題ありますよね。

藤田：うん。

利用 (Utilization) : 支援確認

17:15

太郎：なんか家族の中に味方になってくれる人とか、いそうですか。

藤田：そうですね。やっぱり同居してるんですけど、遊ばず勉強している姿は母親は見てくれ
るので、うん。一番応援してくれると思いますね。だから父親の方がやっぱりあんまりはっ
きりとは言わないですけども、女性がそうやってお仕事等でもうなんですかね。資格試験とい
うよりは就職して、結婚して、いいとこ就職して、結婚して、安定の方ですかね。父親には
よく言われます。

18:19

太郎：なるほど。同居されてるのは、お父さんとお母さんだけですか。

藤田：妹がいます。妹と4人です。

太郎：なるほど、そしたら、反対する可能性があるのは、お父さん。

藤田：はい、父親が一番、特にやっぱり大学院まで行って、うん。お金のね。経済的なこともあるし。

目標設定：一貫性の原則の利用

18:46

太郎：藤田さんは税理士になりたい。あとおおむね3科目。

問題の分割 (Partitioning)

→財務諸表論は合格できるとの暗示 (Suggestion)

藤田：できれば諦めたくないですね。

太郎：うん。そしたら諦めたくないって今のね、気持ちをね、お母さんにまずお話するにあたって、これから4年間、来年1年とプラス3年の学習スケジュール、税理士予備校の先生とね、一緒にしっかり作り込んで、後ね、お母さんにまず、味方についてもらうっていうのはいかがですか？

方策：利用 (予備校) & 戦略 (Strategy) & スモールステップ & 暗示 (相談はする前提)

19:41

藤田：そうですね、具体的にふわっと、勉強する、したいというよりは、具体的なスケジュールを出すっていうのは、説得力あるように思います。

同意 & 前向きな変容

太郎：ではそこから、ちょっとやってみるといっていかげんでしょうか。

自己決定権の尊重

20:03

藤田：わかりました。